

地域循環ネットワークモデル事業報告書

平成 16 年 3 月

三重県環境部循環システム推進チーム

はじめに

「環境の21世紀」を迎え、人類の活動が自らの生存を脅かすような環境負荷をもたらしている状況から脱却し、環境への負荷が少ない持続的な「資源循環型社会」を目指すことが急務となっています。

資源循環型社会の実現に向けては、住民、NPO、事業者、市町村といった地域社会の構成員それぞれが主体となって取り組むことはもちろん、それぞれがこれまでの枠を越えて、新たな役割分担と連携のもとで、収集、回収、再生、利用等を行う循環の枠組み - 地域循環ネットワーク - を構築することが求められています。

本報告書では、廃棄物としての発生量が多くリサイクル方法や事業の枠組みの検討が必要かつ可能である生ごみ・廃食油・紙ごみの3種類の廃棄物について、地域社会の様々な構成員の協働・連携により資源循環に取り組んでいる県内外の先進的事例約20件を取りまとめました。

本報告書が、様々な主体の協働、連携による廃棄物の循環的利用や環境産業の創出に向けての実践的な事例集として県内での地域循環ネットワークづくりの一助となれば幸いです。

本報告書で紹介している事例については例示的なものであり、実際の事業実施にあたっては、各地の状況により様々なバリエーションがあり得ます。

事業実施については、関係機関との十分な協議の上での実施が必要です。

目 次

第1章 生ごみに係る先進事例	1
（1）三重県桑名市	2
（2）グリーンハウス協同組合	4
（3）滋賀県水口町	7
（4）福井県大野市	10
（5）山形県長井市	13
（6）富山グリーンフードリサイクル株式会社	16
（7）その他のリサイクル事業	19
第2章 廃食油に係る先進事例	21
（1）京都府京都市	22
（2）滋賀県愛東町	26
（3）三重県二見町	29
（4）三重県藤原町	32
（5）新潟県上越市	35
（6）伊賀南部環境衛生組合（名張市・青山町）	38
（7）その他のリサイクル事業	40
第3章 紙ごみに係る先進事例	41
（1）オフィス町内会	42
（2）ちよだ・ちゅうおう・みなとエコ・オフィス町内会	43
（3）多摩市オフィス町内会（多摩商工会議所）	46
（4）NPO 法人オフィスリサイクルネットワーク	47
（5）とやま古紙再生サークル（北陸電力株式会社）	49
（6）プロジェクト・アイカ	51
（7）ペリコ三重	53
（8）三重県庁	55

